

介護老人保健施設 オアシス21 谷山 依里 オアシス21 栄養科主任

功 績 新型コロナウイルスで大規模な活動が減っているなか、「食事 みんなを明るくしよう」と行事食を倍増。早い段階でポスター掲示することで、楽しみを増やしました。そこから退日が決まっていた越冬入所のご利用者3名が退所日の延長を希望され、退所予定であった方3名も退所を延長してまで召し上がっていただいた功績。

推 薦 者 宮前元樹

推 薦 理 由 ただ単に行事食を増やすだけでなく、毎日利用者さんとコミュニケーションをとることで、利用者さんがどんなものを楽しみにされているかをしっかりと把握。企画からポスターを工夫することで、利用者さんの楽しみも増えました。新型コロナウイルスで稼働が低迷しているなか、稼働予算未達ではありましたが、3名の利用者さんが自ら退所日を延長してくれたことは、理事長賞に値すると思ひ推薦いたします。

内 容

オアシスでは、近隣の病院や施設での新型コロナウイルス発症の影響で、新規入所者が減り、短期入所者のキャンセルも増えているなか、退所者を抑える取り組みをしていました。

しかし、もともと越冬目的で入居されている利用者さんは、春になると自宅に帰ることを楽しみにされていて、入所を延長することを拒まれていました。

外部ボランティアの活動も無くなり、日常的に行われていた大規模な行事が減っていることで、栄養科主任の谷山は「食事元気になってもらいたい」と考え、毎月行われている薬膳料理の他に、さまざまな行事食を企画。

- 握りずし（まぐろ・サーモン・ねぎとろ・かに・いなり）
- 春の山菜御膳（筍ご飯、天ぷら盛り合わせ、アナゴの茶碗蒸し）
- お花見弁当（梅ごはん、炊き合わせ、エビフライ等）弁当箱で提供
- かつおのたたき御膳（山菜ごはん、カツオのたたき、うどのきんぴら）
- パンのバイキング
- 薬膳料理（毎月実施）

※パン以外はミキサー食に対応

これらの行事食は半月～1ヶ月前からポスターで告知することで、利用者さん同士での会話も弾み、楽しみにされる方々が増加。越冬入所者で自宅に帰りたいと仰っていた利用者さんも、「これが食べたいからもう少しオアシスにいたい」と3名の方が1ヶ月間退所を延長してくれました。

谷山は療養棟で食事の時間に利用者さんとコミュニケーションを取っており、食事介助にも入っています。ここから利用者さんの希望をしっかりと聞き取ることで、どの利用者さんがどんな食事が好きなのかを把握しています。